

汚染経過など究明

水俣病調査に四氏来熊

水俣病の現地調査のため、経済企画庁水質調査課の三善正雄技

官と同庁水質保全課の内田望

同庁専門調査員星野通平、中野

陽の四氏は二十四日来熊、県庁

での記者会見で、不知火海が来

年度に水質保全法にもとづく指

定水域になるのは困難だろう、
などといったように語った。

農林、厚生、通産各省と経済企画

庁では、今後それぞれの部門にわ

かれて①無機水銀が有機化する過

程②新日鐵水俣工場が水俣湾を汚

染させた経過などを究明する。調

査結果は企画庁が取りまとめるこ
とになる。

しかし本年度の予算は各省ともな
く、予備費から支出するよう要求
しても大蔵省が認めるかどうかわ
からない。また、来年度予算は各
省ともすでに要求書を提出したあ
とであり、水俣病関係予算は追加
要求の形になる。この来年度予算
を各省が別個に要求するか、企画
庁がまとめるか、また規模がどう
なるかはまだわからない。

こんどの調査目的は病気の原因究
明と同時に、水質保全法にもとづ
く水域指定の予備調査の意味もあ
る。しかし来年度に指定されるの
は困難だろう。来年度指定分はす
でに全国六カ所で予備調査を終わ
り、これに不知火海が割り込める
かどうか疑問である。

今後の各省の研究は熊大や県の研
究結果に積み重なる形で行なわれ
るだろう。

なお一行は二十六日まで熊大当
局と協議したうえ、二十七、八
両日水俣市に向かう。